

大学生と農山漁村との連携事例



和歌山大学

実施主体名: 学生との協働による棚田保全・集落支援活動(有田川町LPP 棚田ふぁむ)

担当窓口

和歌山大学観光学部 地域連携プログラム
(Local Partnership Program, LPP)

URL

https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/local_study/lpp.html



活動内容

地域住民と学生との協働により、①棚田保全活動、②地域農業支援活動、③地域との交流活動、④地域のPR活動支援など、地元集落の活性化に向けた取組を支援。令和5年度は田植え、山椒収穫支援、稲刈り、秋祭り支援、草刈り、地元交流会、天神祭の参加など、計7回の現地活動を実施。地域との協同活動を長期にわたり継続的に取り組み、学生の定期的な訪問と交流活動により、学生と地域住民との間に強固な繋がりを築いている。



きっかけ

第19回全国棚田（千枚田）サミットの開催決定を契機に、県が企画した「棚田モニターツアー」に和歌山大学観光学部生が参加。農家の高齢化、担い手不足により、耕作放棄地が年々拡大している地域の現状を目の当たりにした学生から、「棚田保全ボランティア」のアイデアが出されたことをきっかけに、平成23年7月から「棚田ふぁむ」の活動を開始。



展望

コロナ禍で休止していた地元交流会を令和5年度に再開。交流会では、1年間の活動を振り返り、有田川町沼地区の未来を考えるワークショップを行うとともに、学生と地元住民の親睦を深めることができた。今後も継続的に地域と関わり続け、集落に活気をもたらすことができるような活動をしていきたい。



沼地区住民と棚田ふぁむのメンバー



毎年春に行う田植え



毎年夏に行う山椒収穫支援



沼地区の未来を考える交流会
(ワークショップ)